

# 増える大学、減る短大。 学部学生は10年ぶり減少

女子の学部学生43年連続増加で120.6万人。2025年大学受験生数も予測

旺文社 教育情報センター 2024年10月22日

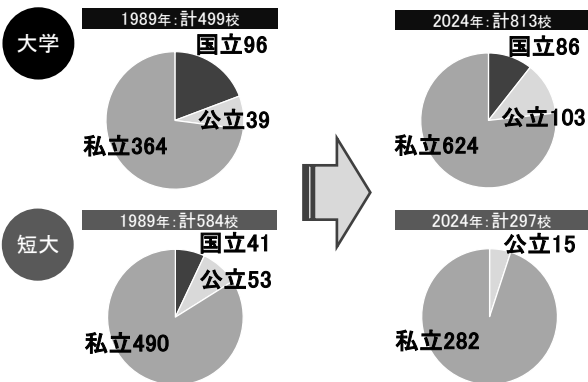
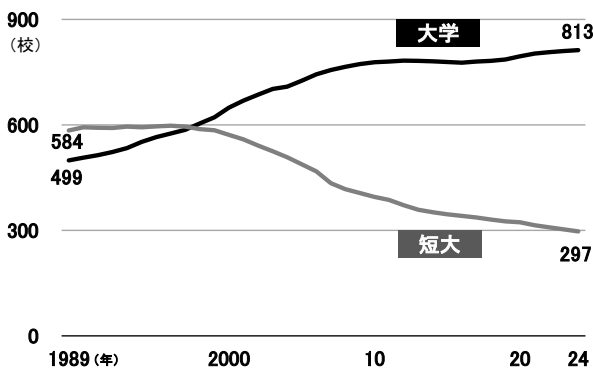
2024年度「学校基本調査」速報によると、大学の学部学生が10年ぶりに減少。一方で、女子の人数は過去最多、占有率も過去最高を更新した。短大の学科(本科)学生は減少が続き8万人を下回った。本稿では「学校基本調査」速報に基づき、2024年度の大学・短大数、学生数などを経年データとあわせて概観するとともに、弊社による次年度以降の受験生数予測を示す。

◎「学校基本調査」(文部科学省)

・学校教育行政に必要な基本的事項を明らかにすることを目的として、幼稚園・小学校・中学校・高校・特別支援学校・専修学校・大学・短大など全学校を対象として学校数、在学者数、入学者数、卒業生数、入学の状況・卒業後の状況、教員数などを調査。1948年度(昭和23年度)から毎年実施されている。

・「速報」では学校数・在学者数・教員数などを公表。卒業後の状況など全項目の集計結果は、12月に確定値として公表予定。

## 大学数、短大数の推移



※大学に大学院大学を含む。 ※学生募集停止の大学・短大も正規の廃止手続が完了していない場合は含む。 ※通信教育のみを行う大学・短大は除く。

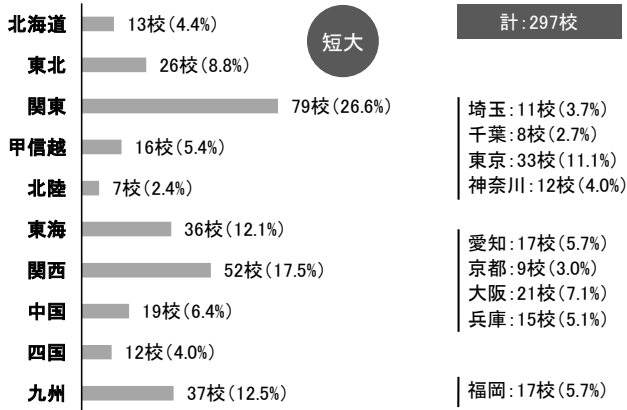
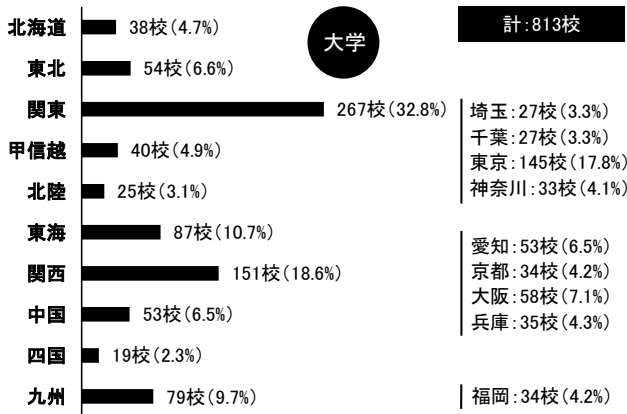
## 大学は増加、短大は減少が続く

2024年の大学数(大学院大学を含む)は対前年3校増(公立+1、私立+2)の813校(過去最多)。短大は同6校減(全て私立)の297校。短大の減少は1997年から28年連続。かつては大学よりも校数が多かった短大だが、1998年に逆転。4年制への転換、募集停止が続く。現時点で、短大23校が2025年の募集を行わないことを、5校が2026年の募集を行わないことを公表。なお18歳人口は1989年193万人、直近ピーク1992年205万人、2024年は106万人まで減少している。

設置者別の校数は大学・短大とも私立が多い。1989年→2024年で占有率を見ると、大学:72.9%→76.8%、短大:83.9%→94.9%。

他方、公立大学の増加も目に付く。新設や私大の公立化で、2024年は1989年比2.6倍の103校に。占有率1割強に至っている。

## 2024年度 大学・短大のエリア別の設置状況



## 東京の大学数が群を抜く。 設置は大都市圏集中。 短大はいくぶん地方に分散

都道府県別の大学数では、東京が群を抜いて多い。その数は関西全体と並ぶほど。必然的に首都圏1都3県合計での占有率は高くなり28.5%（日本の大学の4分の1超）。他エリアを見ても、愛知・京都・大阪・兵庫・福岡など大都市への集中が見られる。

設置者別に校数が多い都道府県は、国立：東京12校・北海道7校、公立：北海道7校・広島5校、私立：東京131校・大阪53校など。

短大も、首都圏1都3県の合計が21.5%を占めるなど大都市圏への集中は見られるが、大学に比べると、他エリアにも分散していると言えよう。

※エリア・都道府県は、大学・短大の本部所在地による。  
※大学に大学院大学を含む。  
※学生募集停止の大学・短大も正規の廃止手続が完了していない場合は含む。 ※通信教育のみを行う大学・短大は除く。

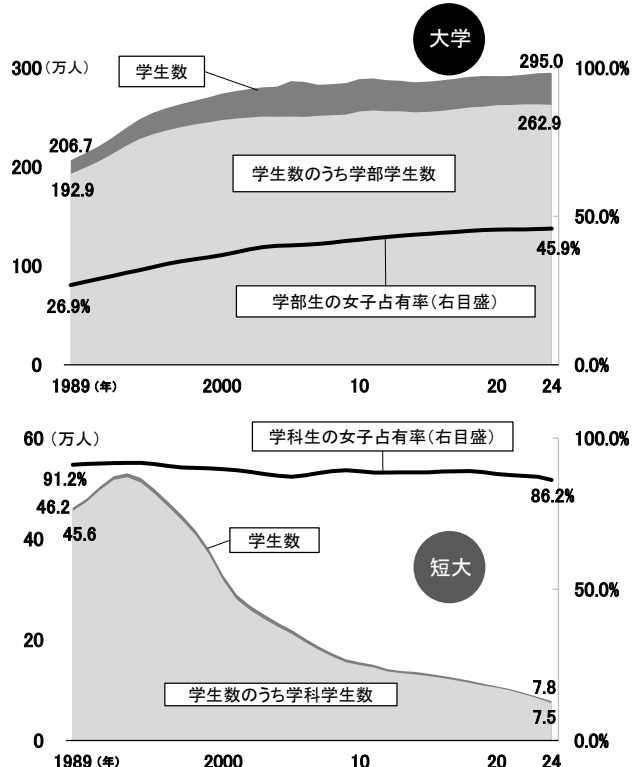
## 大学・短大の学生数 &女子占有率の推移

### 学部学生10年ぶりに減少。 短大の学科学生は8万人を下回る

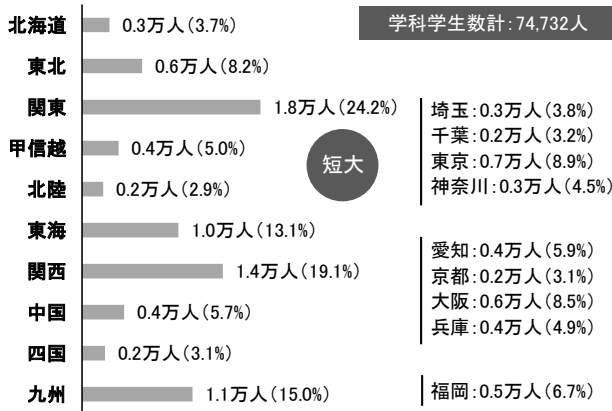
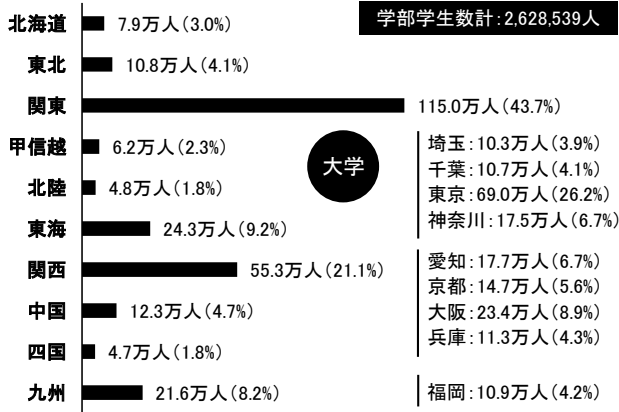
2024年の大学の学部学生は対前年4.2千人減の262.9万人。2016年以降は1～1.7万人規模で増えていたが、2021年以降鈍化。10年ぶりに減少した。設置者別の人数は、国立：43.3万人、公立：14.8万人、私立：204.7万人。77.9%を私立が占める。女子の学部学生は対前年1.3千人の増加で120.6万人。占有率は45.9%。人数・占有率とも43年連続上昇している。

短大の学科学生の減少は続き、15年前の半数未満の7.5万人に。

※学生数には大学院生(大学の場合)、別科・専攻科の学生、聴講生等を含む。 ※通信教育の学生は含まない。



## 2024年度 大学(学部)、短大(学科)の エリア別の学生数



※エリア・都道府県は、大学の学部、短大の学科所在地による。  
※通信教育の学生は含まない。

## 首都圏の学部学生の 占有率は40.9%。 4人に1人は東京

都道府県別の学部学生数も、東京の多さは際立っている。全体の26.2%を占め、関西全体を超える。学部学生の4人に1人は東京にいる計算だ。首都圏1都3県の合計は107.5万人で、全体の40.9%にまで達する。

グラフ中に示されている県に次いで学部学生が多いのは、広島5.3万人、宮城4.8万人、岡山3.7万人、静岡3.3万人、滋賀3.2万人、新潟2.8万人などと続く。

短大の学科学生の首都圏1都3県合計の占有率は20.5%。大学の学部学生の首都圏への集中ほどではない。エリアごとに占有率を見ると東北8.2%、甲信越5.0%、九州15.0%など大学に比べると高い率だ。

ここまで「学校基本調査」速報に基づいて大学数や学生数を示した。これとは別に、2024年4月の学生募集を実施した大学に関して、大学数や学部・学科数、学問分野別の設置状況などに関する分析を、2024年6月24日に弊社教育情報センターから配信している。[こちらの記事](#)も参照していただきたい。

## 2025年入試での「大学受験生数」は65.7万人。 通信制高校からの受験生も含めて予測

最後に、「学校基本調査」で公表された高校の生徒数や弊社入試動向分析などを基に、今後の大学受験生数予測を示す。18歳人口は長期的には減少していくものの2025年と2026年は一時的に増加。現役志願率と現役入学率は上昇予測。2025年入試の大学受験生数は65.7万人と予測する（対前年1.5%増）。

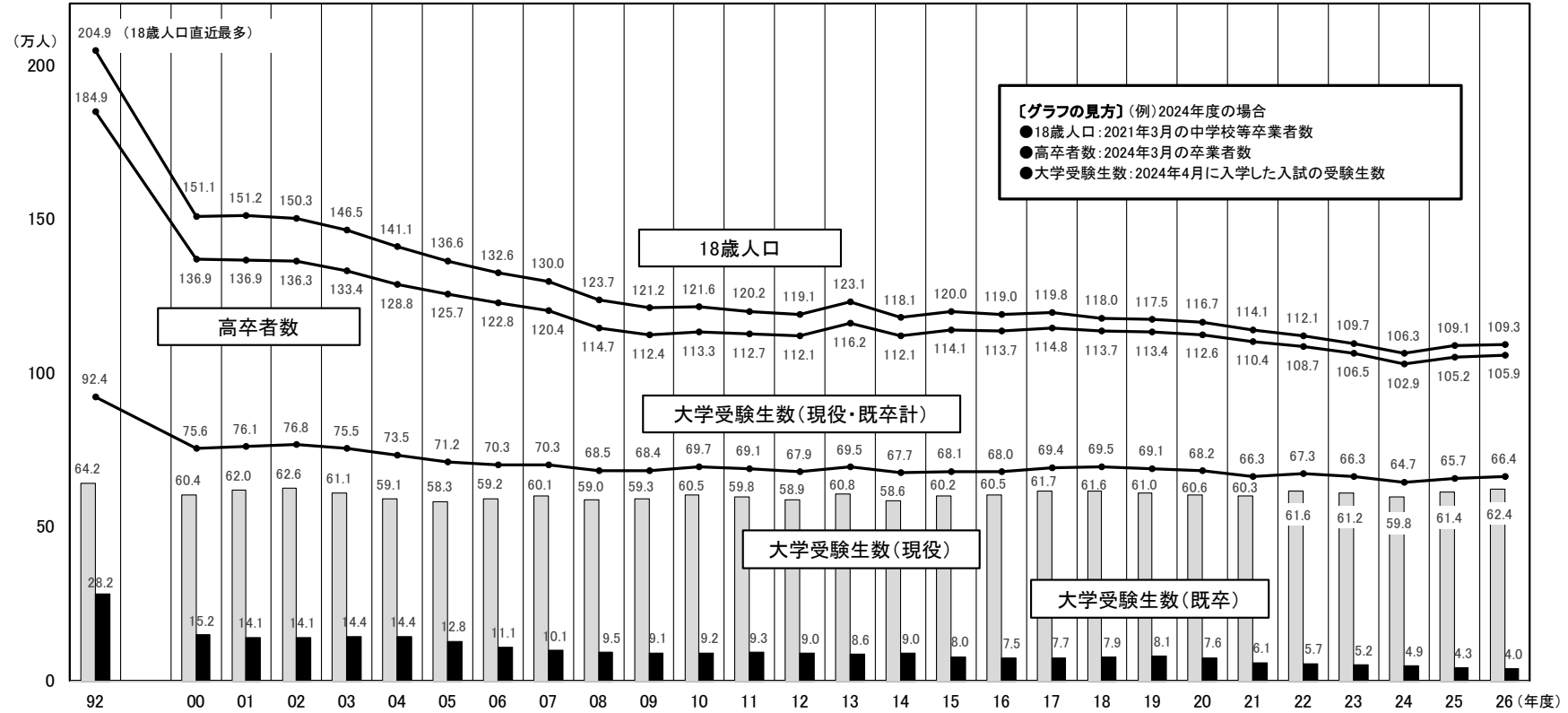
なお、本予測には、近年生徒数・大学受験生数が急増している通信制高校をはじめ、特別支援学校高等部などからの受験生も含む。

(2024.10 加納)

次ページに「18歳人口&高卒者数&大学生数 推移」グラフを掲載。

# 18歳人口 & 高卒者数 & 大学受験生数 推移

(株)旺文社 教育情報センター  
2024年9月



大学現役志願率(%)	34.7	44.1	45.3	46.0	45.8	45.9	46.4	48.2	49.9	51.5	52.8	53.4	53.0	52.6	52.4	52.3	52.7	53.2	53.8	54.2	53.8	53.8	54.6	56.7	57.4	58.2	58.4	58.9
大学現役入学率(%)	54.2	77.2	77.2	76.3	76.7	78.3	81.8	83.5	84.9	85.8	86.0	85.9	86.0	86.5	86.2	87.4	88.0	88.0	87.5	87.0	87.8	89.4	91.0	91.5	92.5	93.2	93.7	94.2

【注】文科省「学校基本調査」より算出。2023年以前は実数、2024年以降は旺文社予測。「18歳人口」…3年前の中学校、中等教育学校前期課程、義務教育学校の卒業生数・修了者数合計。「高卒者数」…全日制・定時制高校、中等教育学校後期課程、通信制高校、特別支援学校高等部の卒業生数・修了者数合計。「大学受験生数」…左記学校および高認合格者の大学受験生数合計。高認合格者は便宜上、共通テスト志願者数を大学受験生数とみなす。「大学現役志願率」…新規高卒者における大学受験生の割合。「大学現役入学率」…大学現役受験生における大学入学者の割合。